

花豆かんさつにつき 5 ページめ

札幌市博物館活動センター 2023 年度 おうちミュージアム

日付:2023 年 6 月 30 日(金曜日)

天気:くもりのち雨 気温 28℃

場所:博物館活動センターの花壇



支柱につるをぐるぐる巻き付けながら、ハナマメは成長しています。

もう花が咲きました！

ハナマメはもともと中南米に生育している植物で、日本には花を見て楽しむために、江戸時代に持ち込まれました。



見事なお花だね！

紫と黒のまだら模様のマメからは赤い紅色の花が、白いマメからは白い花が咲いたよ。

ベニバナインゲン、シロバナインゲンの名前の通りだ！

※たねまきの様子は「花豆かんさつにつき 1 ページめ」をご覧ください。



花が咲く前の「つぼみ」もかわいい!



花のつき方を見てみよう!

花のつき方や並び方を専門用語で「花序(かじょ)」というよ。

ハナマメは、つるから枝分かれした茎に、花が10個ぐらいついているね。

花は下の方(つるに近い方)から順番に咲いていくみたい。

このような花のつき方を「総状花序(そうじょうかじょ)」というよ。



花をもっと近くで見てみたよ。

大きさは2~3cmぐらい。

花びらは……何枚あるのかな??

また今度調べてみようっと!

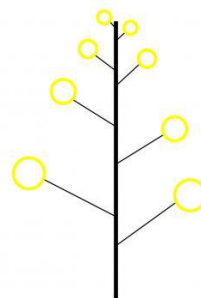
身近な植物の花序

「花序（かじょ）」には様々な種類があります。

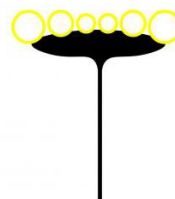
ちょっとマニアックなので解説はしませんが、アカデミックな雰囲気をお楽しみください。



ハナマメは
「総状花序（そうじょうかじょ）」



セイヨウタンポポは
「頭状花序（とうじょうかじょ）」

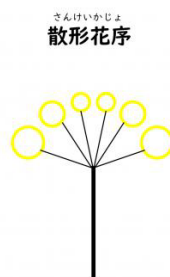




オオバコは
「穂状花序(すいじょうかじょ)」



オオハナウドは
「複散形花序(ふくさんけいかじょ)」



花のつき方にも名前があるなんて、いくら勉強してもし足りません！